

1. 総人口の減少

- 我が国は人口減少局面に突入している
- 現状が続けば、2060年(約50年後)には人口は約8,700万人に

2. 人口構成の不均衡

- 現状のままであれば、2060年(約50年後)になっても、人口構成の不均衡が続く
- 三大都市圏(特に東京圏)での高齢者の大幅増(2060年には、現在の約1.4倍)
- 地方圏での生産年齢人口の大幅減(2060年には、現在の約2分の1)

3. 大都市圏への人口移動

- 現状は、大都市圏(特に東京圏)への転入超過
- 今後、地方から大都市圏への転入超過が収束するかどうか

4. 人口の低密度化

- 2050年(約40年後)までに、居住地域の6割以上で人口が半分以下、さらにその1/3(全体の約2割)では人が住まなくなると推計